

# 2012申告書対策について 小貫先生よりのメッセージ

通関士試験では、3科目目の「通関実務」において合格点に達せず涙を飲む受験生が多く見られます。「通関実務」において「輸入申告書」「輸出申告書」の対策が重要ポイントとなります。この申告書対策(通関実務応用講義)に向けたTACの教材改訂について通関士講座小貫講師よりメッセージです。



ここ数年の通関士試験における申告書の問題は、以前と比べて明らかに難化しています。具体的には、次のような点が挙げられます。

## 1. 事務処理作業の増加

読まなければならない統計品目表及び関税率表が複数の類に亘っており、分量も単純に増えているほかに、類注の判断も必要となっています。また、仕入書上の貨物の品名(英語名)がわかりにくく、貨物の内容を把握するのに時間がかかります。

## 2. 総合的な知識を要求する出題

解釈通則や貨物分類に関する知識を要求する内容となっています。例えば、「塩化アンモニウム」が31類ではなく28類であることを知っていないと、時間内に解くのは難しい問題が出題されています。

## 3. 課税価格の判断の難化(輸入)

加算要素や現実支払価格の判断が難しい問題が出題されています。課税価格について、深い理解とできる限り多くの知識の習得が必要です。

### 今年のTACの申告書対策について

2012年通関実務応用講義—申告書対策講義は、以上を踏まえて、より本試験に対応する内容にしています。特に上記1の傾向を考えて、「作業が単純に面倒」な問題を提供していきます。無駄を省いた合理的な手順を学習していただき、迅速な事務処理能力を身に付けてください。

また、従来から上記2及び3の点には配慮してきたつもりですが、より一層の充実を図ります。特に、貨物分類と課税価格に関する知識は重要ですので、できる限りこれらの知識を盛り込んだ問題にしていきます。通関実務応用講義「貨物分類対策」「計算対策」の講座と併せて、総合的な実力を手にしてください。

上記「申告書対策」を含んだ「通関実務応用講義」がコースに含まれる

弱点を見つけ出す再受験者向け **上級本科生**

基本項目の要点学習をする **短期合格講座**

詳細は通関士春開講  
(上級・短期)リーフ  
レットをご覧ください



**TAC 通関士講座**